

各 位

(社)愛媛県紙パルプ工業会

紙産業中核人材育成講座 (H26 年度最新紙加工技術コース) のご案内

初春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当工業会では、経済産業省の委託事業として標記中核人材育成講座を平成17・18年度で立ち上げ、自立運営して7年が経過いたしました。現在までに、平成17・18年度の実証講義を含め120名を超える修了者が所属企業にて活躍されております。

この講座は、紙製品のコスト競争等、紙産業を取り巻く環境が著しく変化する中で、紙産業界の技術力を向上させ、生産現場ですぐ対応できる中核的な技術者・リーダーの育成をめざしています。また、講義は実習講義を含む少人数のゼミ形式で、各分野の第一線の講師により重要基本事項から最新の技術・情報までを修得し、実践に即対応でき紙産業の将来を担える技術者を養成する内容となっています。

つきましては、業務ご多忙の折とは存じますが、標記講座を下記のとおり開講いたしますので、多数の方々が受講していただきますようご案内申し上げます。

記

1. 講 師 大学教授、専門企業技術者、公設試験研究機関OB等の精鋭講師で実施します。
(別紙：講義科目概要及び講師紹介を参照下さい。)
2. 期 間 平成26年6月～平成27年2月 延27日181時間
3. 日 程 <座学>金、土曜日 <実習>木、金、土曜日 (原則9時～17時)
(別紙：講義スケジュール表のとおり)
4. 受講定員 平成26年度最新紙加工技術コース：約20名
(応募者多数の場合は事務局で調整させていただきます。)
5. 受講対象 実務経験3年以上、又は同程度の能力を有する方
6. 実施場所 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター (四国中央市妻鳥町)
高知県立紙産業技術センター (吾川郡いの町)
7. 受講料 平成26年度最新紙加工技術コース(11科目、延181時間) ¥200,000-
(愛媛県紙パルプ工業会会員企業は、受講料¥30,000を減額いたします。)
8. 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送・ファクス・E-mailにて下記までお申込み下さい。
受講申込書は当工業会ホームページからダウンロードできます。
(社)愛媛県紙パルプ工業会 〒799-0101 四国中央市川之江町4084番1
Tel:0896-58-2055 Fax:0896-58-6240 E-mail: info@e-kami.or.jp
URL: http://www.e-kami.or.jp
9. 申込締切 平成26年5月23日(金) 必着
10. その他 「キャリア形成促進助成金」等の助成が受けられます。
※詳細は都道府県労働局へお問い合わせ下さい。
受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

講義科目概要

	時間	講師氏名	講義内容
塗工技術特論	12	宮崎 範康 福本 賢一	塗工技術と乾燥技術の基礎、塗工・乾燥方式の種類と選択方法やライン駆動制御技術など塗工設備本体の知識について学習。同時に原反・製品ロールの搬送管理方法、クリーンルーム設備、UV硬化装置など付帯設備技術についても学習する。
不織布技術特論	12	矢井田 修 林 幸男 奥村 和久	最新の不織布用原材料、サーマルボンド不織布製造法、スパンレース不織布製造法、スパンボンド不織布製造法、メルトブロー不織布製造法、エアレイド不織布製造法、複合化不織布製造法等や不織布用語、関連メーカー、試作研究などについて学習する。
不織布製造試験実習	21	信藤啓一郎	不織布製造に使用される、各種不織布関連原料の種類・用途等を学習し、小型カード機や不織布製造設備、各種試験機器を使用し、試作品作成や品質評価の方法を実習する。
特許管理特論	7	松島 理	技術者がすぐ応用できる、特許検索の手法、特許出願の方法等について学習をする。研究・開発担当者が職場で実際に直面する問題についての解決手法等、実務的な内容も学習する。
紙加工機械特論	12	熊谷 知久 鈴木 恒彦 一色 裕樹	紙加工技術の基本概念として“巻く、折る、切る、砕く、包む”をテーマに各紙加工設備を取り上げ、各設備の目的、能力等、最新の技術を学習する。また、段ボール包装設計等について、一般知識、製造方法、包装機械、最新の技術を学習する。
コンバーティング技術特論	7	福本 賢一	最新のコンバーティング技術並びに技法等の用途、目的、更には問題点やその対策について学習する。内容としては包装紙、容器、剥離紙・工程紙(工業用、ラベル、反射板、セラミック、炭素繊維、合成皮革等)に関連したもので、生産時の問題点とその原因対策等、実践に役立つことを、対話方式を交えて学習する。
紙加工用薬品特論	7	瀧下 雅之 古澤 浩基 谷 俊和	塗工用水性顔料の品質特性と応用例、紙加工用樹脂(水系ディスプレイン、ラテックスなど)の製造法と特徴・各種樹脂の特性と応用、インクジェットメディアと使用薬品及びコーティング方式、剥離紙用シリコーンの品質特性等、各種機能性薬品について学習する。
機能材料塗工試験実習	21	宮崎 範康 田村 元男	機能材料塗工実習ではハンドコート手法から物造りの基本を学習し、剥離紙・粘着シートの試作品製造を通じ、塗工液の調整法やテストコーターの使用法と品質評価法を実習する。
紙加工技術・開発手法実習	35	田村 元男 古澤 浩基 武山 泰士	製造現場で起こりうるテーマを再現して、受講生が自らの判断で問題解決する方法を修得する。企業における新製品の製造企画、塗工処方確立から製造工程までの手法を学習する。(インクジェット用紙開発をテーマに処方の検討、試作品作成、報告書提出までを学習)
生産管理特論	12	宇高 昭造 福川賛司郎	自動生産設備を企画・設計・運用するためのシーケンサ、インバータ、サーボ技術の基礎を習得し、さらにパソコンなどを用いて、生産管理に応用する基礎的な技術概要を学習する。
シーケンス制御技術実習	35	大窪 仁 宇高 昭造	高付加価値紙製品の製造現場で起こりうるテーマを再現して、受講生が自らの判断で問題解決する方法を修得する。受講生が簡単なシーケンス制御システムを設計し、目標の設備を組み立て、それを動作させることにより、シーケンス制御システムの技術を学習する。

(敬称略)

【講師紹介（最新紙加工技術コース）】

宮崎 範康	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター・嘱託研究員
福本 賢一	元リンテック(株)小松島工場・工場長
矢井田 修	日本不織布協会技術委員会・委員長
林 幸男	元高知県立紙産業技術センター・所長
奥村 和久	日本フィルコングループ関西金網(株)大阪支店営業三課・課長
信藤啓一郎	シンワ(株)商品開発室
松島 理	松島国際特許事務所・所長
熊谷 知久	レンゴー(株)包装技術部大阪包装技術センター・部長代理
鈴木 恒彦	川之江造機(株)設計部・主任
一色 裕樹	川之江造機(株)設計部・副主任
古澤 浩基	明成化学工業(株)紙薬剤開発部情報産業開発G
瀧下 雅之	荒川化学工業(株)製紙薬品事業部研究開発部・副部長兼Gリーダー
谷 俊和	東レ・ダウコーニング(株)機能化学品営業部門 1G・技術サービス
田村 元男	四国は紙国・コーディネータ
武山 泰士	日本電色工業(株)大阪営業部営業1課・係長
福川賛司郎	三菱電機システムサービス(株)四国支店機電営業課・SE
宇高 昭造	泉製紙(株)・代表取締役
大窪 仁	泉製紙(株)第三工場製造部・課長

(順不同・敬称略)

【協力機関】

愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 高知県立紙産業技術センター

【支援企業】

相 川 鉄 工 (株)	荒 川 化 学 工 業 (株)	泉 製 紙 (株)
愛 媛 製 紙 (株)	川 之 江 造 機 (株)	(株) 島 津 製 作 所
シ ン ワ (株)	星 光 P M C (株)	大 王 製 紙 (株)
ダイワボウプログレス(株)	東レ・ダウコーニング(株)	富 田 製 薬 (株)
日本フィルコン(株)	日 本 フ ェ ル ト (株)	日 本 電 子 (株)
日 本 電 色 工 業 (株)	丸 住 製 紙 (株)	明 成 化 学 工 業 (株)
リ ン テ ッ ク (株)	レ ン ゴ ー (株)	

(順不同)

紙産業中核人材育成講座 受講申込書

平成 年 月 日

社団法人愛媛県紙パルプ工業会 会長 様

標記講座（H26年度最新紙加工技術コース）の受講について、下記のとおり申し込みます。

企業名			
所在地		〒	
		TEL _____	FAX _____
担当者名		部署 _____	氏名 _____
受講者	所属	部署 _____	役職 _____
		TEL _____	FAX _____
		E-mail _____	
	ふりがな		
	氏名		
	生年月日	昭和 年 月 日生（年齢 ）	
連絡先	住所（会社：自宅）〒		
	TEL	（ ）	携帯 - -
職務経歴 （職務概要、職務歴 と経験年数など）		経験年数 年	

(注) 受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

★申込先：下記まで郵送・FAX・E-mailにてお申し込みください。
〒799-0101 四国中央市川之江町4084番1
(社)愛媛県紙パルプ工業会
TEL:0896-58-2055 FAX:0896-58-6240
E-mail: info@e-kami.or.jp